

平成30年9月6日(木)に看護研究研修を開催しました。この研修は、看護研究のテーマに悩んでいる方や、看護研究をどのように進めてよいのかわからない方に対し“看護研究の導入”に焦点をあてた4回のシリーズ研修です。今回は、看護研究を進めるうえで欠かせない論文クリティークをテーマに、精神看護専門看護師の福田亜紀先生から講義していただきました。



## ●講師紹介● 福田亜紀先生(精神看護専門看護師)

- ◇とにもかくにも、まずは”読んで”…
- ◇それぞれの文献の”引用・参考文献”欄も必ず確認して…
- ◇”すごく参考になる！”と思えた文献の”著者”もチェックすると…

きっと役立つ文献に出会えるはず♡

## ●主な講義内容● (講義スライドより転載、講師承認済)

### 1 研究の引用・参考文献に適したものを使い分けよう！

文献のいろいろ

論文の検索サイトで得られるもの / 研究の引用文献、参考文献として用いられるもの

### 2 先行研究の限界も踏まえ、自分の研究を客観的に見てみよう！

何のために文献を使うのか

書き手として	読み手として
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の独自性、意義をアピールする</li> <li>・研究の信憑性を高くする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その論文の根拠の正誤を確認する</li> </ul>

文献は基本的には信用できないもの、高名な教授の論文でも何かしらの限界がある、という前提のもと信頼できる文献、信用できる文献を見つけるのが大事

### 3 批判的に吟味してみよう！論文が正しいという思い込みは危険

手に取った文献をクリティークする

タイトル	論文の内容を端的に表しているか
要旨	論文の概要が理解できているか
序論	文献調査、検討の範囲や視点が明確に述べられているか
目的	文献検討で明らかになったことが述べられているか
研究方法	目的に対して適切な方法が結果に記載されている内容がすべて方法に記載されているか
倫理的配慮	必要な倫理的配慮がなされているか
結果	研究方法に記載された内容が結果に記載されているか
分析結果	分析結果が客観的に述べられているか
考察	結果を踏まえて研究者の考えが述べられているか
適切に文献が引用されているか	内容が飛躍していないか
文献量、質、年、分野の広さ	
その他	全体が一貫しているか
	資金提供に関する記載があるか

## ●論文クリティークの実践●

### 4

身近なテーマである「せん妄」に関する論文を用いて、まずは個人で読み込みました。受講者全員、真剣な顔で読んでいるのが印象的でした。

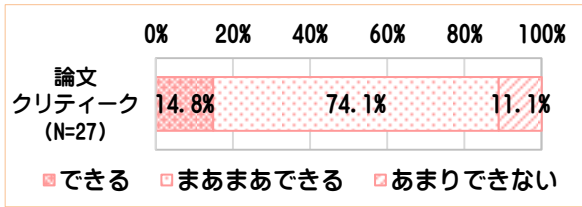
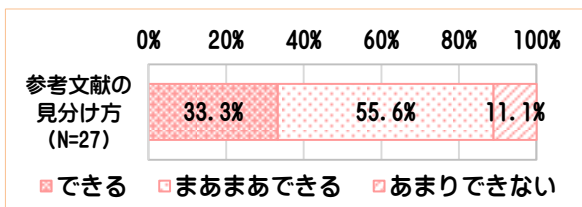
### 5

グループワークでは、研究テーマと目的のずれ、研究方法に対する疑問、主観的文章への違和感など、いろんな視点から意見がでました。

### 6

批判的に吟味した内容をグループ間で共有しました。論文の精度を評価すること、論文にも限界があることを実感できました。

## ●アンケート結果(回収率96.4%)●



### 【ご意見・ご感想】

- ・とても分かりやすかった
- ・楽しく学べた
- ・クリティークのやり方が実感できた
- ・クリティークの重要性が分かった
- ・とても勉強になった
- ・活用できるように頑張りたい



論文クリティーク(論文の良し悪しを批判的にみて評価する)を行う際は、是非、複数人で取り組んでみましょう。色んな発見ができるはずですが、学会誌などによっては文字数制限により、述べられた結果や考察が薄いこともあります。その限界を理解したうえで、いろんな文献を読み、看護研究の実践に活かしてください。